

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 仙台市立南吉成中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒 9 8 9 - 3 2 0 4
 仙台市青葉区南吉成 5 - 1 8 - 2

E-mail : chikufu@sendai-c.ed.jp

Website : http://www2.sendai-c.ed.jp/~chikufu/

児童生徒数 : 男子 134 名 女子 139 名 合計 273 名
 幼児・児童・生徒の年齢 13 歳~ 15 歳

2. 報告期間

平成 2 9 年 4 月～平成 3 0 年 3 月

3. 活動内容

(1) 活動の概要

① 中学生が主体的に取り組む地域防災訓練

中学生が学年ごと仮設トイレ設置訓練・アルファ化米炊き出し訓練・救急救護訓練・AED使用訓練を生徒主体に保護者・地域住民の協力を得て活動した。

② 津波被災農家に弟子入り体験学習

この体験学習は大震災の翌年の平成 2 4 年度から実施しており、本校生徒が、津波の塩害で稲作ができず、綿花栽培を行っている仙台市沿岸部の津波被災農家で、夏に綿花畑の除草作業、秋に綿花収穫の奉仕作業を行っている。また、綿花の収穫後には、本校生徒が全員で仙台市の復興ソングの合唱を披露したり、吹奏楽部が演奏をしたりするなど、被災農家との交流も行っている。

③ 各町内会夏まつり会場事前奉仕活動

本校生徒が希望して 4 つの各町内会主催夏まつり直前の会場の奉仕活動に参加し、“地域に貢献する南吉成中生”をスローガンに掲げ、昨年度から実施している。今年度も多くの生徒が希望参加し、猛暑が続くなかで夏まつり会場ゴミの回収や準備活動のお手伝いなどの奉仕活動を行った。参加した生徒のまとめりある取組にすべての町内会から賞賛を得て、地域貢献活動として成功している。

④ 地域防災をテーマとした全校発表会

全校生徒を居住地区別に 8 つのグループに分け、防災学習に取り組んでいる。その学習の中でグループごとに町内会長さんや仙台市地域防災リーダーの方々をお招きして、地区ごとの危険箇所や各災害に対する備えについて講話をいただいた。また、今年度は外部の講師の方にお越しいただき、防災について学習した。これらの学習した内容を踏まえ、地区ごとに防災上の課題についてまとめ、活動宣言を定めた。

①の様子



②の様子



③の様子



(2) 活動の詳細

①活動内容

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解, 文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化, 文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的, 総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍, ウェブサイト, パンフレットなど具体名）

防災副読本「3.11 から未来へ」

- ① ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

教育課程に独立した項目として位置づけてはいないが、総合的な学習の時間を活用し、防災をテーマとした学習活動を行っている。総合の学習や、社会や理科など教科の学習の中でも防災について学習した上で、年に一度秋に実施した「地域防災の日」で、その実践的な理解・活用につなげるという取組みを行った。地域防災の日は学校行事として一日実施し、地域の方々や外部の講師の方を招いての実践的な学習の場としている。

- ② 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

ユネスコスクール担当者を校務分掌に位置づけ、教頭と担当者が中心となって持続可能な開発に関する啓発を行った。資料は全職員に回覧し、職員の ESD への理解を深めている。地域防災の日については、防災主任と総合主任が中心となり、生徒の他者と協力する態度、地域とのつながりを尊重する態度の涵養を目的に計画を立て、実施している。

- ③ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

地域防災の日をもった後日、全職員で会議を行った。AED 体験や救急救命講習を通して、生徒に他者と協力して行動する姿勢が身についたことや、外部の講師にお越しいただき、防災に関する講話をいただいたことは生徒の防災に関する理解の向上に大いに役立った。一方、課題としては、地域の方々の参加者数が少なく、学校だけでなく地域に向けて ESD をどう発信するかということが課題となった。

- ④ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

担当者が代わったこともあり、校内での実施にとどまり、なかなか中心となって発信するということまで至らなかった。

- ⑤ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ, 大学, ESD活動支援センター, ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

「被災地農家弟子入り体験」として、年に2回被災農家の綿花栽培を手伝わせていただき、交流を深めている。文化祭では、地域の方々の制作された作品を展示するコーナーを設け、地域参加型の文化祭となっている。また合唱コンクールや文化祭、運動会などの学校行事は原則地域に公開して実施している。

- ⑥ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

今年度は特に実施していない。

- ⑦ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項 2-5 に対応

AED 体験や救急救命講習を通して、災害時に実際に役立つスキルを身に付けることができた。「地域防災の日」を通し、生徒に地域の方々とのつながりを尊重する態度が見られるようになった。総じて、他者と協力して行動する姿勢が身についた。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

今年度同様、防災学習を主軸に据えて活動を実施する方向である。各教科の学習内容を、総合的な学習の時間で有機的に関連づけ、生徒の他者と協力する態度、地域とのつながりを尊重する態度、さらにはコミュニケーションスキルの向上を目的として実施予定である。これらの学習内容の、実践的な活用場として「みなよし防災の日」を設定し、学習内容を、他の地区に住む生徒や地域の方や発表し、AED 体験等の体験活動で生きた学びにしていく計画である。